

実験・実習科目の履修について

3年次から実験・実習科目を履修する。実験・実習科目にはコース必修と選択があり、選択科目として受講する場合は、設備や実験器具の関係で受講人数が制限されることがあります。

2年次の終わりに説明会を行い、希望をとり調整決定します。

【2年指導教員】

各コースの必修科目および選択科目

コース	必修科目	選択科目
水土環境工学コース	①水理・水質実験 ②土壌・土質実験 ⑤測量実習	③生物生産機械・環境工学実験Ⅰ ④生物生産機械・環境工学実験Ⅱ
食料生産システム工学コース	③生物生産機械・環境工学実験Ⅰ ④生物生産機械・環境工学実験Ⅱ	①水理・水質実験 ②土壌・土質実験 ⑤測量実習

実験・実習科目についての許容人数と関連授業科目

科目名	許容人数	関連授業科目
水理・水質実験	約30名	流体力学、応用水理学、水質環境工学など
土壌・土質実験	約30名	土壌物理学、農村農地工学、土質工学など
生物生産機械・環境工学実験Ⅰ	約15名	圃場機械学、機械要素・機構学、エネルギー工学、計測法、環境調節学、農産物流通工学、資源リサイクル論、有機廃棄物管理工学など
生物生産機械・環境工学実験Ⅱ	約15名	
測量実習※	25名	測量学、計測法、空間情報工学

※測量実習に関しては、関連授業科目（22、23ページ参照）の単位修得状況と成績を加味し、受け入れを決定する場合がある。